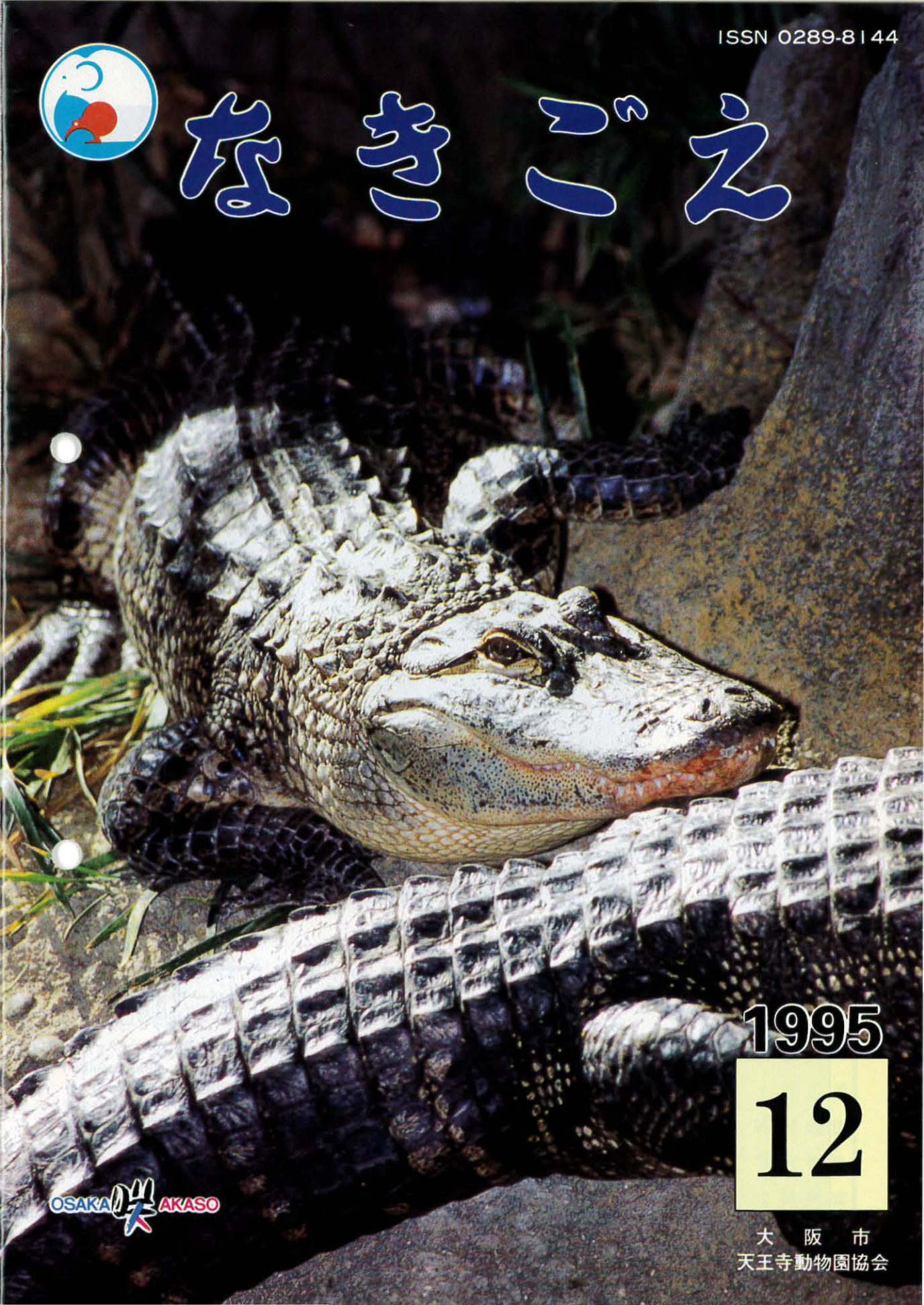




# なきごえ



1995

12

OSAKA  AKASO

大阪市  
天王寺動物園協会





(撮影：中川 哲男)

- 2 — New Face メガネグマのメス来園(中川 哲男)
- 3 — 動物と私 恩しらずのいたずらオーちゃん(馬場 国敏)  
カバーウォッチングミシシッピーワニ(竹田 正人)
- 4 — 動物園の利用法(八木 敬理)
- 6 — 80周年記念シンポジウムから(中上 正幸)
- 8 — グラフZOO ライオンの“たてがみ”が  
生えるまで(吉本 昌俊)
- 10 — 公園花だより ⑮(仁田原 洋)
- 11 — ZOO DIARY

**カバーウォッチング**

ミシシッピーワニ  
ワニ目 アリゲーター科  
*Alligator mississippiensis*  
その名のとおりに北アメリカ東南部ミシシッピー川下流に生息しています。肉食性で普通4～5mぐらゐの大きさに成長します。性格はおとなしく、人を襲うことはほとんどありません。  
(撮影：竹田 正人)

**表紙**

**撮影者名**

1 上から見た天王寺動物園	ブレック研究所	7 クランウェルツノガエル	長瀬 健二郎
2 リュウキュウイノシシ	森本 委利	8 セイタカシギ	森本 委利
3 インドニシキヘビ	宮下 実	9 コノハガエル	長瀬 健二郎
4 エランド	堀内 智生	10 ヨウスコウワニ	榊原 安昭
5 ミズオオトカゲ	小林 崇弘	11 アオハリトカゲ	長瀬 健二郎
6 サバンナオオトカゲ	竹田 正人	12 ミシシッピーワニ	竹田 正人

**動物と私**

**執筆者名**

1 中川 道朗 (株)大阪市天王寺動物園協会副会長	7 河野 敏輝 和歌山県高野町職員
2 易 信子 島熊山の雑木林を守る会	8 新沢としひこ シンガー・ソングライター、童謡作家
3 遠藤 公男 日本野鳥の会宮古支部長	9 マイケル・A・ハフマン 京都大学動物学教室研修員・理学博士
4 竹中 修 京都大学霊長類研究所教授	10 谷口 三千代 フリーライター
5 光田 智恵子 ひかりのくに(株)雑誌編集部	11 橋爪 秀博 大阪市立長橋小学校教諭
6 岡田 節人 生命誌研究館館長 京都大学名誉教授	12 馬場 国俊 獣医師(馬場動物病院)

**New Face**

**撮影者名**

1 ラマの赤ちゃん誕生	吉本 昌俊	7 アムールトラの赤ちゃん誕生	堀内 智生
2 エランドの赤ちゃん誕生	中上 正幸	8 ジャガーの赤ちゃん誕生	中上 正幸
3 コアラの赤ちゃんお目見え	大野 尊信	9 ニホンジカの赤ちゃん誕生	大野 尊信
4 ハワイガンのヒナふ化	小林 崇弘	10 アミメキリンの赤ちゃん	小林 崇弘
5 バーバリシープ続々誕生	榊原 安昭	11 ドリルの赤ちゃん誕生	宮下 実
6 ファンボルトペンギン誕生	森本 委利	12 メガネグマのメス来園	中川 哲男

**グラフZOO**

**撮影者名**

1 動物園の写真本	竹田 正人	7 舌(ペロ)	中川 哲男
2 ダンボールの動物展	早川 篤	8 糞は健康のバロメーター	村上 勇一
3 爬虫類生態館の完成	宮下 実	9 第21回サマースクール	土谷 正道
4 私は誰〜れ?	長瀬 健二郎	10 アジアゾウのからだ	西田 俊広
5 卵いろいろ	土谷 正道	11 イベントウォッチング(80周年)	堀内 智生
6 爬虫類生態館—日本の自然—	大野 尊信	12	小林 崇弘



特別寄稿

執筆者名

2 「身近な夜行性動物」⑤テン	細田 徹治	和歌山県立御坊商工高等学校 教諭
3 「身近な夜行性動物」⑥フクロウ	中川 宗孝	
4 「身近な夜行性動物」⑦大阪の夜行性動物	池田 裕計	(株)大阪自然環境保全協会
5 「身近な夜行性動物」⑧天王寺動物園の夜行性動物舎	早川 篤	天王寺動植物公園事務所飼育課
6 大阪のみどり生き物	夏原 由博	環境科学研究所 研究主任
7 ゴリラから見たヒト	山極 寿一	京都大学霊長類研究所
8 北海道の自然と傷病鳥獣の救護活動	森田 正治	道東野生動物保護センター長
9 動物園の利用法	堀田 進	東京経済大学教授
10 動物園の利用法	辻本 修	大阪キリスト教短期大学、大阪教育福祉専門学校
11 動物園の利用法	宮藤 浩子	神奈川県立生命の星・地球博物館
12 動物園の利用法	八木 敬理	日本野鳥の会大阪支部

連載

執筆者名

キーバズアイ			獣医室から		
1 動きだしたらコワイでハリと絶滅に瀕した動物たち	早川 篤		4 個体識別いろいろ	竹田 正人	
6 休日はユウウツペンギンが飛んだ	早川 篤		10 動物園での検疫	榊原 安昭	
11 ダイエットあれこれ	早川 篤		動物なんでも相談		
ケンちゃんの好きやねん動物園			5 フェレットの臭いを消す方法	吉本 昌俊	
3 爬虫類生態館(オープンを控えて)	松葉 健		5 カバの血汗と潜水時間	吉本 昌俊	
8 爬虫類生態館(裏方さん)	松葉 健		9 カバはどんなときでも水の中にいるのですか	長瀬 健二郎	
			9 キーウィ、ダチョウの卵	長瀬 健二郎	
			公園・花だより		
			2 植物温室とベゴニア	仁田原 洋	
			7 天王寺公園あれこれ	仁田原 洋	
			12 クリスマスと正月準備	仁田原 洋	

飼育観察記事

執筆者名

5 アカコンゴウインコの繁殖	藤井 秀樹
6 フクロテナガザルの人工哺育	鈴木 克治
10 アオハリトカゲの繁殖	西村 慶太
11 動きだしたドリルの繁殖計画 一飼育から繁殖にいたるまで一	宮下 実

紀行・記録・その他

1 天王寺公園と動物園の昔語り	中川 哲男
2 動物を病気から守る(動物病院からの報告)	吉本 昌俊
3 爬虫類生態館を造る	中川 哲男
4 退職にあたって	中山 良三郎 吉岡 照明 小谷 千代治
7 ZOOセミナーを開催して	大野 尊信
8 飼育係(動物園人)の新しい流れ	大野 尊信
9 当園で第7回全国両生爬虫類会議開催	高橋 雅之
12 天王寺動物園開園80周年を迎える	中上 正幸

ZOO DIARY

竹田 正人

||||| 動物と私 |||||

恩しらずのいたずらオーちゃん



馬場 国敏さん  
(獣医師)

我が家では今、巢立ちに失敗した1羽のオナガが家族の1員として暮らしています。現在リハビリ中ですが、これが終わり次第、頃合いを見ては野生復帰させようと考えています。我が家の野鳥病院には毎年4~5羽のオナガが保護されてきますが、その中の1羽が愛称オーちゃんです。幼鳥で保護されたときオーちゃんは両翼が发育不良で飛べない状態でした。我が家は人間4人とシーズ犬4頭の8家族。これにオナガが加わりました。オーちゃんと言ったのは私より飼育が上手な女房です。

1か月余りで何事もなく成長し、短い両翼もそんなに気にならないほどになりました。保護した鳥は居間などで飛翔訓練をして自然へ帰していますが、オーちゃんもこれを踏襲。ですが予想以上にリハビリ生活は手間どり、家族ともども苦労を味わうようになったのです。

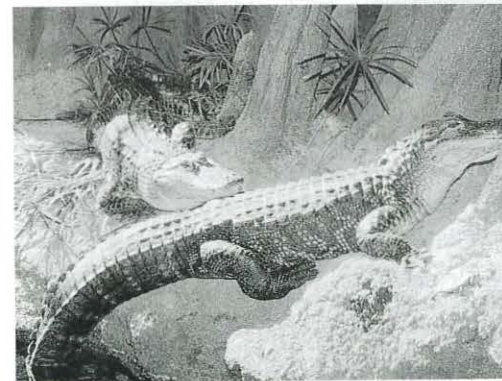
一番、6時半に居間へおりてくるのは娘ですが、オーちゃんは娘の姿を見つめるなり「ギャー、ギャー」を始めるのです。目覚まし時計のベル以上のけたたましい鳴き声ですので睡眠不足気味となってしまいます。オーちゃんの飛翔訓練は1日2回ほど行いますが、これがまた大変なトレーニングなのです。小屋から出すや否やリビングルームを飛び回り旋回するため、蛍光灯の傘に積もったチリが舞い降りるなど子供達は一目

散に自分の部屋に逃げこみます。旋回運動が終わると次は茶ダンス、テーブル、床を利用した上下運動が始まります。この間、ウンチ爆弾の攻撃も決して忘れません。この運動に疲れると茶ダンスの上からテーブルの上をチェックし始めます。このときの動作には愛嬌があり、日頃の憎らしいオーちゃんを忘れ可愛いと思うのですが、それも束の間で、すぐ次のいたずらを始めます。テーブルの上の置き忘れたカステラでも見つけるとアジサシの様に急降下してこれをつつき始め、テーブルの上はたちまち食いちぎったカステラの山となってしまう。これに飽きたら今度は漬け物のラップ破りに精を出したりと、これらの動作は食べるためにやっているようには見え、どうも楽しんでるだけなのです。オーちゃんにはもう1つの悪戯が残っています。シーズ犬の毛を集める癖がついてしまったのです。シーズ犬達も馬鹿ではなく、オーちゃんがテーブルの上から食べ物を落としてくれるまでは喜んで待機しているのですが、終わりを感ずると1頭ずつ消え去ります。テーブルの下、テレビの裏側等ですが、頭かくして尻かくさずで尾がはみ出しているシーズ犬がいますとそれが犠牲になり毛を引き抜かれるのです。引き抜いた毛はどうするのかというと、無意味に止まり木の割れ目や床の隙間等に詰まらだけなのです。またある日、娘がデートが何かで喜んで出かけたことがありました。ところがしばらくして泣きべそ顔で帰ってきました。一番愛用していた服の肩にウンチ爆弾の跡があったようです。よほど恥をかいたのでしょうか、その日娘は部屋から出てきませんでした。しかし、さすがは獣医師の娘でした。オーちゃんにあたりちらすことはなく、翌日には世話をしていました。

このように傷ついた野生動物を治して野に帰す作業が如何に大変なことがよくおわかり頂けたでしょうか。保護される原因は人間が作り出していることが多く、せめてもの罪滅ぼしと思いが家では楽しみながら、ときには腹を立てながらリハビリ治療を続けています。いたずらオーちゃんが山に帰ってもすぐに次の新米のいたずら坊主が「助けてくれ」とやって来ることでしよう。(ばばくにとし)

メガネグマのメス来園

10月15日の夕方、北アイルランドのベルファスト動物園からメガネグマが到着しました。名前は「ペギー」といい、3才9ヶ月の若くておとなしいクマです。





# 動物園の利用法

八木 敬理

(財)日本野鳥の会  
大阪支部  
探鳥会部部长

**私**は財団法人日本野鳥の会大阪支部の会員です。動物園と野鳥の会とはまず根本的な違いがあります。動物園の動物は丈夫な檻、今風に言えば動物舎の中で暮しています。主に狭いためかコンクリート床の動物舎であることが多いようです。排泄物又はそれらの寄生虫感染のことを考えると、土にしておくには広い場所が必要なので無理になります。種によっては冷暖房が必要でしょう。私はペンギンが好きでよく観察しますが冷房室の彼らは真菌性の肺炎を予防するためとはいえ、狭くて気の毒に思います。さて私の所属する野鳥の会は、野に生活する鳥を観察するのが主になっています。野に生活する鳥と書きしたのは人工的な囲いの中で生活する動物と区別するためです。私はこの原稿を書く前に(財)日本野鳥の会の設立目的を久しぶりに読んでみました。そこには1934年設立以来、野鳥の観察を通じてその保護を目的とし、豊かな自然と人間社会を作ること、と記されています。くどいようですが動物園と野鳥の会では自然に生息する動物を観察するという目的が同じでありながら方法が全然違ってきます。野鳥の会の会員の中には動物園には絶対に行かないという人達もいます。その人達は動物園のケージの中の鳥はかわいそうだ、鳥は自然の中であってこそ魅力があると言います。それもよく私には理解できます。

**野**鳥の会大阪支部では年に1回天王寺動物園の見学会を催しています。世界の野鳥の観察が主なテーマです。参加者は年によって違いますが25~30人位です。日本野鳥の会は現在日本中に支部が80以上、約48,000人の会員がいます。各支部は探鳥会(野鳥観察会)、自然観察会を会員及び一般市民を対象に行っています。動物園見学会を企画している支部ははっきりわかりませんが大阪支部だけのようです。動物園にあまり行きたくない会員がいるのになぜ動物園見学会を企画するのかとよく聞かれます。その時は次のように答えています。動物園は昔は別と

して今は野鳥の会と目的が共通していることを説明します。まず、動物園にやって来る入園者がたくさん飼われている動物を通じて自然のしくみを理解し、地球上には色々な種類の生き物が生活しているのだという現実とそして私達はたくさんの生き物と共存していかなければならないと気付いてくれたら動物園の大きな使命、目的が果たされたこととなります。一方野鳥の会は探鳥会、自然観察会を通じて自然のしくみや自然の中で生活する野鳥達のすばらしさを参加者は経験します。動物園も野鳥の会も「自然とのふれあいの場の入口」という共通する目的があること、それならこの動物園でたくさんの得ることがあるはずだと解説することにしています。

**私**は動物園が好きです。去年は16回、今年は見学会も入れて9回、新しく出来た“アイファー”にはもう4回も行きました。動物園好きの知人がいませんので比較はできませんが動物園通いは多いと自負しています。私は小学生の頃は動物園の園長さんになるのが大きな夢でした。その夢はかきませんが今も動物園を愛する気持ちは小学生の時と同じです。当時は阪神間に住んでいましたので王子動物園によく行きました。天王寺動物園にも思い出は多く、北園にはいったすぐの所にコンゴウインコの鳥舎があり、左のキジ類の奥にワニの家がありました。確かこの奥の物置に有名なリクダのハク製があったと記憶しています。もう時効になっているはずなので白状しますがやはり北園の東側にシロナガスクジラの骨格標本が雨ざらしになっていました。骨がバラバラになって落ちていた中の1本が今私の本棚のガラスビンの中に取っています。もう38年位前のことです。このシロナガスクジラの標本は今は自然史博物館にあります。この標本の下に立つとその頃の動物園の様子が思い出されます。

この原稿の「動物園の利用法」というテーマは何か学術的な目的を持った感がしなくてもないですが私はあくまで動物園は心の遊び場です。各地に旅行する時は必ず動物園に立寄りますし、この天王寺動物園へは気楽にやって来ます。全園をまわる訳ではなく何種類かの動物を観察して帰ります。本当に幸せな時間です。

利用法というカテゴリーにはいらないかもしれませんが動物園に対して希望があります。心配な



は虫類生態館“アイファー”



コウノトリ

こともあります。動物園好きの私には広い意味の利用法と理解してください。

現在、地球の環境問題、自然保護の問題がマスコミに報道されない日はないと言っていいでしょう。一般の市民の間でゴミの問題、リサイクルの問題が普通的话题になっています。生態系の保全、生物の多様性、貧困の追放、色々な用語が飛びまわる昨今です。自然の保護がいつでもできるような感じがします。しかし現実はずべてダメになり、あらゆる生き物が人も含め絶滅することはまちがちなささげです。悲観的にならざるを得ません。

動物園では動物を繁殖させるため動物園間で動物の交換等により種の保全を計る試みが近年多くなったと聞きます。将来はその動物を自然に復帰させることが目的だそうですが果たして可能なことでしょうか。ある種では可能でもほとんどの種では不可能なことだと思います。野鳥の会の見学会ではこの現実を知ってもらうことを目的としています。自然を一度破壊すると元にもどすことは不可能なことです。私は1970年頃から自然保護に関心を持ち今に至りました。自然保護に関する本の出版も多くなり、人々も自然保護に対して関心を持つようになりました。自然観察会でも湿地の保全、オゾンホール、酸性雨等の話題が多くなっています。小さい自然保護はできても結果としては自然保護はできないでしょう。その事実を野鳥観察や動物園見学で知ってもらうのが目的になっています。動物園の利用がいつのまにかそうなっています。

会員には暗い話ばかりでなく、アラビアオリックス、コウノトリ、シフゾウ、アメリカシロゾル等絶滅から人為的な方法で繁殖に成功し、一部は自然復帰がなされていることも伝えています。そこで2、3のお願いがあります。動物舎の前にはそれぞれの動物を説明したラベルが立っています。そのラベルには生息する地図が書かれているのですが現実には地図の範囲がその種が生活できる場所ではなくなっています。種が自然復帰できるとすればその場所を地図上に記しますとその自然破壊の状態がよく理解できると思うのですが。例えばイヌワシを繁殖させそれ



イヌワシ

を自然に復帰させようとするとその場所はほとんどなくなっているというようにです。それに種の飼育繁殖が成功しても野外にもどすことが不可能ならば何にもなりません。地球上の豊かな自然を何とか私達の世代の後々まで残しておきましょう、という案内板も欲しいですね。

**最**後にもう1つ動物(生物)図書館が天王寺動物園内にあれば素晴らしいと思いませんか。動物(生物)に関する図書なら何でも揃っている図書館、私の夢です。何とか実現すれば良いのと思っています。

私は動物に興味を持って動物園に通うようになって40年になります。妻も自然や生き物に興味があり、いつもこんな動物園ならいいのという夢を話し合います。世界の動物園のことは文献でしか知りませんが、例えば愛知県のモンキーセンターのようにサル類だけの動物園があったり、ウシ科(Bovidae)だけの動物園があればいいのにと思ったりします。その動物園は入ると広い草原をアジア、アフリカ、アメリカ等に分けて、ニアラ、マウンテンニアラ、レッサークーエランド、それにヨツツノレイヨウも欲しい、アノアもニルガイもと夢はどんどん広がります。これはもう初期の動物園が動物のコレクションに必死になっていたのと同じ気持ち。私はアンテロープが好きなのですが、この動物も入れてみたいと思ったり、思いはふくらみにふくらみます。

さて、今後も野鳥の会大阪支部は動物園の見学会を従来以上の内容になるよう努力して行わせていただきます。微力ながらこの素晴らしい地球が少しでも長く残るように動物園を絶好の研究ノートと見立て自然保護の思想を広めたいと思います。

(やぎ たかのり)



エランド

# 80周年記念シンポジウムから

## ☆80周年記念行事

大正4年1月1日開園以来、満80年を迎えた当園では、9月9日から10月10日までのあいだ、開園80周年を祝って多大な催しを行いましたので、それをお知らせしましょう。

- ◆天王寺動物園開園80周年記念式典
- ※マルチイメージスライド「天王寺動物園80年の歩み」の上映開始式
- ◆「天王寺動物園80年の歩み写真展」と「世界の動物園グッズとポスター展」の開幕式
- ◆一日園長の柳生博さんと一日子供園長の大塚露那さんの園内巡視  
(上記はいずれも9月9日)

(於：大阪国際交流センター・天王寺公園・動物園)  
まず、この開園80周年を祝って、9月9日(土)午前10時より大阪国際交流センターで磯村助役を始めとする本市関係者、全国の動物園関係者等の出席のもとに盛大に記念式典を行いました。

この記念式典では、第1部の式典で俳優の柳生博さんを一日園長に、大塚露那さんを一日子供園長に任命したのち、第2部では柳生博さんと大塚露那さんがスライドを見ながら絶滅の危機に瀕する動物をテーマに話を進め、その話のなかで出てくる様々な疑問について、天王寺動物園の樽本所長が答える「柳生博の動物教室～消えていく動物たち～」を行い、第3部では大阪市立蒲生中学校吹奏楽部による「吹奏楽演奏」を行いました。



一日園長の柳生博さんと一日子供園長の大塚露那ちゃん

午後からは、天王寺公園・動物園に場所を移し、午後1時から、天王寺公園内映像館でマルチイメージスライド「天王寺動物園80年の歩み」の上映開始式を行いました。

この「天王寺動物園80年の歩み」はナレーターに柳生博さんと大塚露那さんを起用し、天王寺動

物園の80年の歴史を、物知りの“茶臼博士”と質問役の“天子”が話を進めていく形式のもので、12月28日まで公園内映像館で上映します。

午後2時からは、動物園内レクチャールームで10月10日まで行われた「天王寺動物園80年の歩み写真展」と「世界の動物園グッズとポスター展」の開幕式を、1日園長の柳生博さんと1日子供園長の大塚露那さん、樽本所長、馬詰副所長の4人でテープカットを行いました。この「天王寺動物園80年の歩み写真展」は、天王寺動物園の80年の歩みを動物園所蔵の懐かしい写真やパンフレットなど、また一般から募集した昔の動物園の写真でふりかえったものです。「世界の動物園グッズとポスター展」は、日本および世界の動物園を、動物園グッズやパネル・ポスター・VTR等で紹介したものです。

また、オーストラリア・メルボルン動物園から寄贈されたコアラ



世界の動物園グッズとポスター展

(オス・メス)の名前を募集するコーナーを設置し、9月30日までのあいだ、VTRやコアラのパネルによって、来園者の皆様に名前を募集してまいりました。その後、1日園長の柳生博さんと1日子供園長の大塚露那さんは、樽本所長以下動物園職員らと共に、園内の動物舎(鳥の楽園→コアラ舎→夜行性動物舎→サルヒヒ舎→オランウータン・チンパンジー舎→爬虫類生態館“アイファー”)を巡視し、開園80周年記念行事の初日を来園者と共に楽しく過ごしました。

## 記念動物映画祭り(9月10日・15日)

(於：天王寺公園内映像館)

天王寺公園内映像館で、9月10日(日)に往年の名画“小熊物語(実写・フランス)”を、15日(祝)には“ベートーベン(実写・ウォルトディズニー)”をそれぞれ1日3回上映しました。いずれの日も映像館は大入りで、入館者の皆様に楽し

んで頂けました。

またこれに先立ち、イベントとして8月12日に“ライオンキング(アニメ・ウォルトディズニー)”、8月13日には“奇跡の旅(実写・ウォルトディズニー)”を上映しました。

## 記念講演会と狂言の公演(9月17日)

(於：天王寺公園内映像館)

9月17日(日)には、天王寺公園内映像館において、和歌山信愛女子短期大学教授の仲谷淳氏を講師に招いて、「身近な里山に住むイノシシ～六甲山に野生を追って～」と題する講演会を行いました。この講演会の参加者は一般の方を事前に募集する形をとっています。

また記念講演会終了後、大和座狂言事務所の演者による、動物を題材にした狂言「蟹山伏」と「柿山伏」を公演いたしました。

## こども動物フェスティバル(9月24日)

(於：天王寺公園内映像館)

9月24日(日)には、動物園内野外ステージにおいて、司会進行役に笑福亭松鶴一門の中堅落語



動物園内野外ステージにおいてパネルシアター

家“笑福亭小つる”を迎え、人形劇団「トムテ」の人形劇や、全国児童会会長植田博一氏による腹話術、切り絵やパネルシアターなどのバラエティーショーを開催しました。

9月24日は天候も良く、客席は満席でしたが、10月8日はあいにく朝から雨が降り続き、こども動物フェスティバルは残念ながら中止となりました。

## 動物園飼育専門者会議(10月1日)

(於：天王寺公園内映像館)

10月1日(日)に天王寺公園内映像館において、東京動物園協会理事長中川志郎氏を講師に招いて、「動物園飼育専門者会議」を行いました。

これは、全国の動物園の飼育関係者が集まって、今後の動物園のありかたを地球規模の環境問題の1つとしてとらえ、専門家の立場から意見の交換を行ったものであります。

## コアラシンポジウム・動物人形劇(10月10日)

(於：天王寺公園内映像館)

10月10日(祝)に、開園80周年記念事業のフィ

ナーレを飾るコアラ贈呈式並びに命名式・コアラシンポジウムが、天王寺公園内映像館において開催されました。



コアラシンポジウム

2頭のコアラ(オス・メス)の名前募集を9月1日から30日まで行ってきましたが、10月1日に審査会を開き、応募総数約9,000通の中からオスは「ホルン」、メスは「リア」と決定しました。この2頭のコアラ(ホルン・リア)は、10月7日午後6時15分QF113便で関西国際空港に到着、3時間後の午後9時すぎには当園に来園しました。

第1部のコアラ贈呈式並びに命名式では建設局宮崎本部長、樽本所長など本市関係者のほか、来賓として、オーストラリア総領事館デレック・ブラウン副総領事、オーストラリア・メルボルン動物園のマイクル・リンチ獣医師、同レズ・ビーチ飼育主任、コアラの輸送では多大なご協力を頂いたカンタスオーストラリア航空会社岩本敏夫大阪支店長らを招いて行われました。

「ホルン」と「リア」に応募された方の中から抽選でそれぞれ25名、計50名の方をコアラ贈呈式並びに命名式に招待し、コアラのぬいぐるみをプレゼントいたしました。

また第2部のコアラシンポジウムでは、大手前女子学園教授ジェフ・パークランド氏を司会に招いて、当園の長瀬獣医師、野口飼育員、メルボルン動物園のマイクル・リンチ獣医師、レズ・ビーチ飼育主任ら4人のパネラーで行われました。シンポジウムはオーストラリアの特産動物(主にコアラに関する質問)にパネラーが答えるトークショー形式のものであり、ジェフ・パークランド氏の巧みな司会により、和気あいあいとした雰囲気、入館者の皆様に楽しんでもらいました。

その後第3部は、人形劇団「クラルテ」による動物人形劇を行い、皆様に楽しんでもらいました。

このように天王寺動物園開園80周年事業は動物園関係者、市民のみならずのご協力、参加を得、盛大裏に終了致しました。

(管理課：中上正幸)





# グラフ ZOO

## ライオンの たてがみが生えるまで

ライオンのたてがみは立派ですね。でも、子供の頃にはありません。いったいいつごろに生えそろうのでしょうか。写真で追ってみました。(撮影：吉本昌俊)



**1才4か月**

たてがみらしきものが出て来ました。(1993年12月13日撮影)



**1才7か月**

たてがみらしきものが伸びて来ました。(1994年3月20日撮影)



**雄  
レオ  
満1才**

(1993年8月16日撮影)

1993年2月22日に大牟田動物園から来たときはまだ6ヵ月令でした。



**2才2か月**

(1994年10月18日撮影)

もうたてがみといってもよいでしょう。でも、まだ迫力がありませんね。



**約1才**

(1993年8月16日撮影)



**約3才**

雌にはたてがみはありません。

## 雌 ライヤ

1993年3月4日に九州自然動物公園から来ました。約8ヵ月令でした。



**3才**

立派なたてがみとなりました。





# 公園花だより 15

この夏は、例年より暑さも一段ときびしかったようですが、皆様方の庭や室内の観葉植物はどんな具合に育っていますか。近年の高度経済成長により私達の暮らしは大変豊かになってまいりました。しかしその反面かけがえのない自然が破壊され、又、人と人との温かなふれあいが失われつつあります。こうしたなか、各地域において真の心の豊かさを求めて様々な文化活動や環境問題への取組みがなされており、花と緑あふれる美しいまちを創造していこうという気運も高まっています。



そこで天王寺公園植物展示温室（主展示温室）におきましてクリスマス展（12月5日～12月25日）迄の飾付けを行いこれらを通じて皆様へ心のふれあいを実感して頂ければと願っています。クリスマス展の飾付けには、高木モミの木、下草には、ポインセチア赤白〔（ロスアンゼルス）、（シンガポール）、（バンコク）等最低気温が10度以上のところでは庭木として育っています。日本名、狸々木（しょうじょうぼく）というトウダイ草科の植物で赤や白のように見えるのは苞で花は小さな壺型です〕数百株を使って飾付けを行っています。ポインセチアの見ごとなまでの赤の色が大変あざやかです。クリスマス展を見るだけでも素晴らしいものです。他の4つの温室にはそれぞれ異なるテーマを持って飾付けを行っております。ベゴニア室では旧来棚の上に展示をしていましたが現在では石組をして自然的な形で展示をしています。ベゴニア作りに少しふれてみますと環境作りかといわれるようにその種類に合った環境を作ってやりあとは灌水のコツを守ってさえいればベゴニアは他の園芸植物に比べて特に肥料、薬剤に気を使わなくともいとも簡単に美しく育ちます。原則的



に人間が快適と感じるような温度、湿度、光線、通風をベゴニアは好みます。暑すぎず、寒くなく、のどがカラカラにならないなどの注意をしようえかすかな空気の流れがある明るい所ならご機嫌が良いようです。ぜいたくな植物のようですが反面日常生活に一番身近な植物といえます。下の階の噴水花壇では、シクラメン、シンビジウム等が飾り付けられなおいっそう豪華な雰囲気が出ています。ラン室ではカトレア、デンドロビウム、ファレノプシス等が咲き競っています。カトレアは花の女王といわれますが、数ある洋ランの中でも一段とその美しさ高貴さを誇るその花は野生種そのままでも豪華です。それでも人々は欲望に限りがないのでしょうか、より美しい花を求めて多くの人が限らない努力が続けられています。野外の沈床花壇は、パンジーが植えられ公園全体に安らぎを添えています。一方天王寺ゲート正面無料ゾーンの広場のフラワーベースには葉ボタン、パンジーでうめつくされ正月を迎える準備も出ています。

**花** 12月ワビスケ、カンツバキ、サザンカ、チャノキ、1月ヤブツバキ、ロウバイ、2月、ウメ、ボケ、アセビ、ユキヤナギ、3月、サンシュユ、ジンチョウゲ、コブシ、ハクモクレン、4月、レンギョウ、ハナミズキ、ソメイヨシノ、スモモ、ヤマブキ。

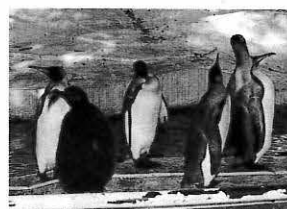
**1** 月に春の七草を展示します。正月の7日に摘み採って七草粥に入る若葉、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ。



(管理課：仁田原 洋)

10/1. カイツブリとドバトを各1羽、モグラを1頭保護しました。

**10月2日** 暑い期間冷房の効いた屋内展示室で飼育展示していたオウサマペンギン・



イワトビペンギン・マカロニペンギンを屋外展示場に移動させました。

**10月3日** 浜松市動物園

からオスのシシオザルが入園しました。検疫終了後、当園生まれのメスと見合いをし、つがいにする予定です。



ムクドリとドバトを各1羽保護しました。

10/4. サメビタキを1羽保護しました。

10/6. ドバトを1羽保護しました。

10/7. メルボルン動物園からオス、メス各1頭のコアラが贈られてきました。

10/9. 小鳥の家の屋外展示場の池補修工事を始めました。このため展示していたオオサイチョウやサイチョウを一時収容舎に移動させました。

ゴイサギを1羽保護しました。

**10月10日** 開園80周年記念イベントの一環として、コアラシンポジウムを開催しました。これは10月7日に来園した2頭のコアラの贈呈式も兼ねて行われたもので、メルボルン動物園のスタッフ2名にコアラにまつわる様々なお話をいただきました。



トカラヤギが双仔を出産しました。

**10月15日** メガネグマのメスがベルファスト動物園から贈られてきました。

検疫後、当分の間飼育中のオスと交互に展示する予定です。



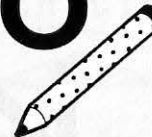
ハシフトガラスを1羽保護しました。

10/16. 9月に保護したユリカモメなど4種8羽の鳥たちを野生復帰させました。

ゴイサギのヒナを1羽保護しました。

今月もおもしろ情報満載

ZOO  
DIARY



- 10/19. アオバズクを1羽保護しました。
- 10/20. コノハズクを1羽保護しました。
- 10/21. 展示していたイヌワシが足を怪我したので入院させ、治療を始めました。
- 10/23. カモシカ園で展示していたブラックバックのオスが足を痛めたので治療を始めました。
- 10/26. キジバトを1羽保護しました。
- 10/27. メボソムシクイとキジバトを各1羽保護しました。
- 10/28. 小鳥の家の屋外展示場の池補修工事が終わり、オオサイチョウなどの展示を再開しました。
- 10/29. フンボルトペンギンが卵を産んでいるのを確認しました。  
ゴイサギを1羽保護しました。

**10月30日** ホッキョクグマのオスが宝塚動物園から贈られてきました。

今年3月に当園のオスが死亡したため、メス



“ユキコ”にあうオスを捜していました。検疫後、見合いを兼ねてオス、メス交互に展示する予定です。

- 10/31. サバンナモンキーが1頭生まれました。  
タヌキを1頭保護しました。

■お知らせ■

●動物園のおじさんのお話  
「動物園裏側ウォッチング」  
日時：12月17日(日) 午後1時から  
集合：レクチャールーム

訂正：11月号P8、最上段「IVENT」は「EVENT」のまちがいでした。  
11月号P11、下から9行目「仲谷理博」は「仲谷 淳理学博士」のまちがいでした。

愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑 一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修  
B5変型判・オールカラー  
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、  
自然の中ではどんな暮らしをして  
いるのか？ 動物園での世話  
の仕方は？ 仲間は？ など、  
写真と精密イラストをまじえ紹  
介します。

〈くらしとかいかたシリーズ〈既刊本〉〉  
B5変型判・オールカラー・各定価680円

### むし くらしと かいかた

野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

### ちいさないきもの くらしと かいかた

昆虫以外の小さな生き物を320  
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

## 新・きれいな色 FUJICOLOR SUPER G ACE 400



### カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

# 動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する  
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家  
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

〈研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載〉  
会費/年1,500円 (切手72円・呈既刊号目次)

## 動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作  
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」  
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)  
好評発売中 ¥800(50度用)

## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー  
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201



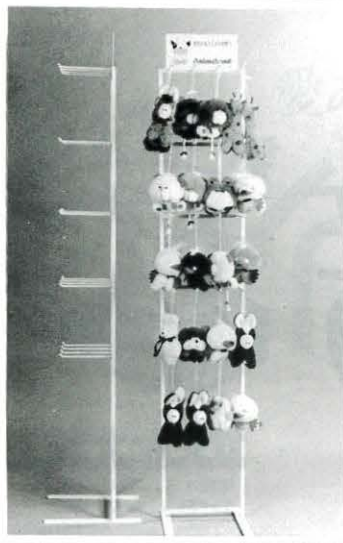
## マスタのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30  
TEL (06)865-0165



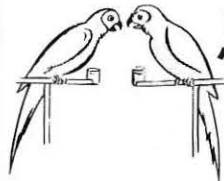


## 動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

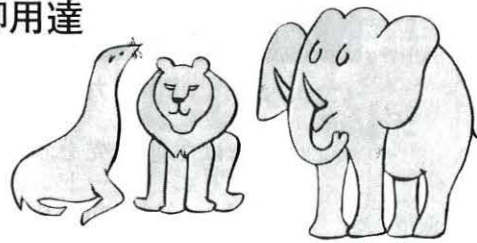
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号  
TEL: (06) 704-8580  
FAX: (06) 704-8565



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

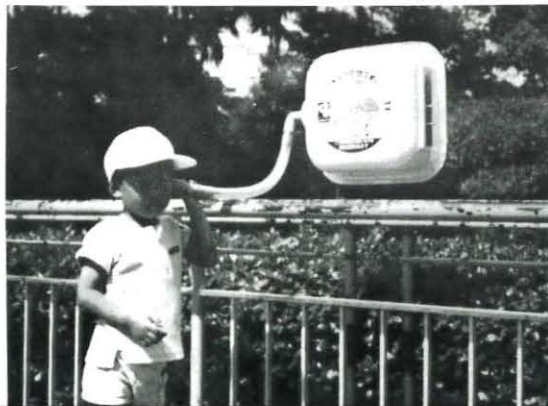
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数ヶ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

動物園内での  
お食事、  
ご休憩は

動物園内.....

**中央売店**

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ 動物園内  
**南園売店** TEL.06-771-7110



**LOTTE**



サクッとスリムなプレッツェルを、  
こんがり焼上げたあとに  
チョコをたっぷり入れました。  
「トッポ」のおいしさの人気は、  
ここがポイントです。





雪印  
つぶより  
フルーツ  
ヨーグルト



●ライチミックス

●ストロベリー

●アップル

●ピーチ

●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココとパイナップル——●ライチミックス  
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って——●ストロベリー  
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の——●アップル  
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で——●ピーチ  
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の——●フルーツミックス

お待たせ  
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

**久竹娛樂株式会社**  
TEL(06)541-3938(代)



一日  
愉快地  
たのしめる

なきごえ 1995年12月10日発行(毎月10日発行) 第31巻 第12号 (通巻364号)

編集 / 大阪市天王寺動物園事務所

発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗

印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

(樽本 勲 / 馬詰好文 / 増野悦敏 / 中川哲男 / 吉本昌俊 / 長谷川敏昭 / 落合正彦 / 宮下 実 / 長瀬健二郎 / 榊原安昭 / 森本委利 / 高橋雅之 / 中上正幸 / 堀内智生 / 小林崇宏 / 竹田正人 / 大野尊信 / 野口秀高 / 早川 篤 / 土谷正道 / 村上勇一 / 仁田原洋)